

人口ビジョン

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、2030 年の本市の総人口は166,780人に減少すると見込まれています。推計の通りに人口減少が進行した場合、地域社会や市民生活に深刻な影響を与えることが考えられるため、今後は人口減少の進行を緩やかにするとともに、年齢構成のバランスを改善することで、将来にわたり一定の人口規模を維持していくことが望まれます。

本市では、めざすべき人口の将来展望として目標人口を設定します。

目標人口（出雲市 独自推計）

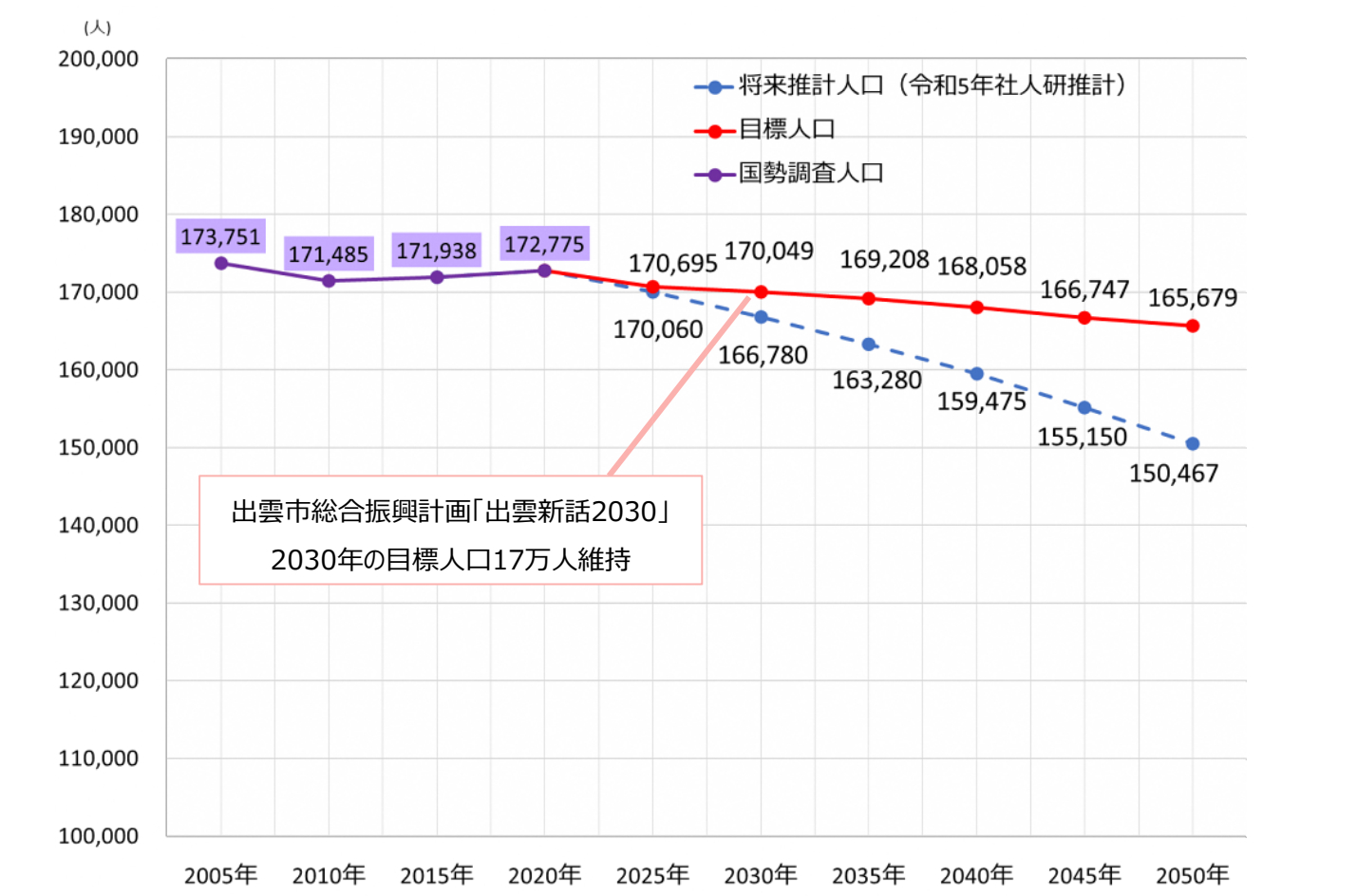
①合計特殊出生率の上昇

- ・2025年には合計特殊出生率が1.70程度に上昇することを想定して算出
- ・2030年には人口置換水準※である2.10まで上昇することを想定して算出

※人口置換水準：人口が長期的に増えも減りもせず一定となる出生の水準のこと

②社会増（転入者数－転出者数）の維持

- ・5年間で社会増2,000人を見込み算出



総合戦略の各施策による効果が着実に反映された場合、本市の独自推計では、2030 年の総人口は170,049 人と
なり、社人研推計より約3,300 人多く見込まれます。

出雲市デジタル田園都市構想総合戦略

〔令和7年度(2025)～令和11年度(2029)〕

【概要版】



地域ビジョン

「出雲力」で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち

国は、急速に進む人口減少に歯止めをかけ、デジタル技術の活用により地域課題の解決と魅力の向上を図っていく「デジタル田園都市国家構想」を進めることで、「全国どこでも誰でも便利で快適に暮らせる社会」の実現をめざしています。

本市は、国の考えを勘案し、これまで進めてきた地域課題の解決や魅力向上に向けた地方創生の取組をデジタルの力を活用して継承・発展させていくため、「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」を策定しました。

住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現を図るため、本市のめざす地域ビジョン（めざす将来像）は、『「出雲力」で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち』とし、「出雲力」をフル活用した、「みんなが活躍する」「地域の魅力を生かした」「持続可能な」まちづくりに取り組みます。

この地域ビジョンは総合振興計画と同じ目標です。さらに、両計画の施策や各種指標の整合性を図ることで、目標達成に向けて効果的・効率的な事業推進を図ります。

基本目標における数値目標と具体的施策

総合戦略の基本目標は、国や県の動き、本市の課題等を踏まえ、以下の5つを掲げます。また、基本目標における数値目標は「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の検証を踏まえて設定します。

基本目標1

出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標 5年間で雇用創出 1,250人

魅力ある多様な雇用の場を創出し、地域の稼ぐ力を高めるとともに、地域の産業を支える人材の育成・確保を図ります。

具体的施策① 第一次産業の活性化と担い手育成・確保

- ・農林水産業の未来を担う人材の確保・育成
- ・新規就業者への総合的な支援
- ・スマート農業の推進
- ・農業経営の基盤強化



▲GPS機能やドローンを活用したスマート農業の実証

具体的施策② 出雲ブランドの活用

- ・出雲の工業製品及び農産品等のブランド力強化
- ・販路拡大

具体的施策③ 地場企業への支援

- ・中小企業・小規模企業の生産性向上・経営基盤の強化
- ・創業支援、女性の創業意欲喚起
- ・技術やノウハウを次世代につなぐ事業継承の支援



▲斐川地域内工業団地群

具体的施策④ 企業誘致の促進

- ・企業の積極的な誘致による働く場の創出
- ・新工業団地の整備

具体的施策⑤ 地域の産業を支える人材の確保

- ・若者を中心とした就職支援、県外学生の地元就職の促進
- ・働きやすく、能力を生かし活躍できる職場づくりの支援
- ・IT企業の人材確保・育成



▲学生と若手社員との交流会

基本目標2

出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる

数値目標 5年間で社会増 2,000人

本市の魅力を発信し、多くのひとと縁をつなぎ市外から本市への人の流れをつくります。

具体的施策① 移住・定住を促進する

- ・仕事、住まいなどニーズに応じた移住・定住支援
- ・外国人住民が安心して暮らせる環境づくり



▲いずもな暮らしHP

具体的施策② 出雲の魅力を発信する

- ・デジタルの手法も活用したプロモーションの強化
- ・観光客の受入環境整備によるおもてなしの推進
- ・ふるさと納税や「出雲ナンバー」を活用した出雲ファンの獲得
- ・ふるさと教育の推進

具体的施策③ 何度でも訪れたい観光のまち・出雲をめざす

- ・「住んでよし、訪れてよしの観光まちづくり」の推進
- ・出雲を楽しむ体験型コンテンツの造成
- ・日本遺産「日の沈む聖地出雲」の魅力発信
- ・出雲の歴史・文化を活用したブランド力向上
- ・海外のIZUMOファンの獲得とインバウンド誘客の促進
- ・訪れる人を受け入れる「おもてなし」の環境整備



▲インバウンド観光（神門通り）

基本目標3

出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標 5年間で出生数 8,000人

出産や子育てに関する希望が叶えられるよう、出会い・結婚・妊娠・出産、子育て・教育の各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援を進めます。

具体的施策① 「結婚したい」を後押しする

- ・結婚意識の醸成と出会いから結婚にいたるまでの支援
- ・リアルとデジタル両方を活用したイベント等の開催

具体的施策② 安心して子どもを産み育てられる環境を整える

- ・妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援
- ・「共働き・共育て」のため安心して子どもを預けられる環境の整備
- ・家庭や地域全体で子どもを育てる
- ・ワーク・ライフ・バランスの充実

具体的施策③ 子どもが夢や希望をもって成長できる教育環境を整える

- ・デジタルの力も活用した質の高い教育の提供
- ・子どもの実情に合わせた支援体制の充実・強化



▲子育て支援センター（親子買い物体験会）



▲中学校でのICTを活用した授業

基本目標4

活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくりを進める

数値目標 市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」90%

歴史や文化など豊富な地域資源を生かし、まちの魅力を高めるとともに、地域課題の解決を図ることで、だれもが安心して暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを進めます。

具体的施策① 安全、安心なまちづくり

- ・ハード・ソフト両面での防災・減災対策、インフラの整備
- ・交通ネットワークの構築

具体的施策② 誰もが健康でいきいきと活躍できるまちづくり

- ・誰もが生きがいをもち、健康に暮らせるまちづくりの推進

具体的施策③ 共生のまちづくり

- ・外国人との多文化共生社会の推進
- ・誰もが自分らしく活躍できる地域共生社会の醸成

具体的施策④ まちの魅力を高め住み続けたいくなるまちづくり

- ・スポーツ、芸術、歴史文化を活用したまちの魅力向上
- ・ボランティア活動の推進

具体的施策⑤ 持続可能な暮らしが実現するまちづくり

- ・中山間地域・過疎地域等の活性化
- ・DXの推進
- ・ゼロカーボンシティ実現への取組



▲市民の暮らしを守る消防職員



▲障がい者週間街頭啓発（車いす体験）



▲スマートフォン教室

基本目標5

広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標 中海・宍道湖・大山圏域人口60万人の維持

広域連携のスケールメリットを生かし、連携自治体相互の特徴や資源を有効活用し、相乗効果が最大限発揮できるよう努めます。

具体的施策① 国内外を視野に入れた相互連携の強化

- ・中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略の推進
- ・圏域を超えた広域連携の取組